

令和5年12月14日

石巻市議会議長 安倍太郎 殿

環境教育委員会  
委員長 遠藤 宏昭

視察報告書  
視察の概要は下記のとおりです。

記

- 1 参加委員 委員長 遠藤 宏昭  
副委員長 鈴木 良広  
委員 我妻 久美子 都 甲 マリ子  
早川 俊弘 山口 荘一郎  
奥山 浩幸 大森 秀一
- 2 視察日時 令和5年10月18日から  
令和5年10月20日まで 3日間
- 3 視察先及び視察内容  
(1) 愛知県半田市  
・部活動の地域移行に関する取組について  
(2) 岐阜県大垣市  
・おおがき環境SDGsポイントの取組について
- 4 視察目的 別頁のとおり
- 5 視察概要 別頁のとおり
- 6 所 感 別頁のとおり
- 7 添付書類 別頁のとおり
- 8 経 費 9人 684,508円 (随行職員の旅費を含む)

## 愛知県半田市

### 「部活動の地域移行に関する取組について」

#### ○視察目的

半田市では、地域住民が主体となって種目や世代を問わずスポーツが楽しめる「総合型スポーツクラブ」が展開されており、これまで部活動の地域移行に関して取り組まれてきた経緯がある。教員の働き方改革や少子化による部活動の減少が叫ばれる現在、本市においても部活動地域移行が課題となっていることから、視察を行い事業の参考とする。

#### ○視察概要

##### 【目的】

- ・ **機会の均一化** = 少子化により開設できない部活動の偏りを解消する
- ・ **教員の負担軽減** = 土日祝日の勤務時間の削減や、未経験種目の顧問就任状況を改善

##### 【指針】

- ・ 「部活動の地域移行」ではなく「**部活動改革**」  
地域移行により同様のサービスが継続される、という誤解を防ぐ
- ・ 令和6年9月1日より「土日祝日は学校部活動を実施せず、地域が受入れ」

#### ガイドライン

- ・ 学校部活動は平日のみ、土日祝日は実施しない
- ・ 参加する大会は知多地方中学校体育大会（郡大会）、吹奏楽コンクール知多地方大会、NHK全国学校音楽コンクールのみ（上位大会含む）

※平日の学校間での部活の共有はしていない

##### 【仕組み】

- ・ **行政による調整**

学校	地域
学校教育課	スポーツ課、生涯学習課

※主体は地域の団体となり、行政は運営支援

・受入れ先団体の整備

運動部	文化部
総合型地域スポーツクラブ 登録団体 スポーツ協会 加盟団体	文化協会 ジュニアブラスバンド 少年少女合唱団

※一般の営利事業者を組み込むかどうか検討中

・受入体制整備と持続可能な運営体制の構築を目的とした補助整備

<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生を対象にスポーツ・文化芸術を実施している民間団体</li> <li>・令和6年～8年度まで</li> <li>・補助率 対象経費の10分の9</li> </ul>
--

※活用を表明しているのは15～20団体

※3カ年かけて、受益者からの費用負担を相応なものに推移させる

※指導者の資格の有無は問わない

※千葉県柏市の制度を参考

・部活動として参加しない大会の準備

クラブチームも参加できる大会要項へ変更

中学生の部活の大会運営に係る引き継ぎ

他団体への大会要項変更の要望

・活動場所及び活動時の備品等の使用ルールの整備

備品等の使用ルール

クラブチームと学校（部活動）の共同運用

学校敷地内の倉庫にそれぞれが共同で使用できる備品等についてのルール作り

【事前調査】

子ども・保護者向けアンケート

→令和4年10月～11月、小5～中3とその保護者向けに実施

- ・土日祝日に地域での活動に参加したい（させたい）割合

子ども 48%、保護者 70%

- ・土日のスポーツ・文化活動に望むこと（子ども）

趣味程度に楽しく活動したい 66%、本格的に技術の上達を目指したい 42%

※詳細HP

<https://www.city.handa.lg.jp/gkkyoiku/bukatsudou.html>

---

## 【その他】

### 部活動改革に関する周知

- ・ 学校向け通知
- ・ 保護者向けのお知らせ
- ・ 年明けに新一年生向けの説明会に向けたチラシの準備中

※学校からの反発はなかった

※保護者からの問い合わせはほとんどない

## ○所感

半田市の部活動改革は「生徒の課外活動の主体は地域に」という明確な目標の下、学校部活動のあり方を大きく変容させる、挑戦的な取組だった。地域の課外活動の受け皿となるリソースは地域ごとに異なるため、一概に同様の取組が全国でできるわけではないが、改革の取組姿勢としては大いに参考にすべきところである。

また、事前に部活動に対する意識調査を生徒と保護者の両方に行ったことで、実際に部活を行う生徒本人と保護者の考え方の違いが明確に出ていることがわかった点も評価できる。

しかしながら教員の働き方改革の点においては休日の部活動対応がなくなることで、一定の成果が得られるであろうことが予想できる一方で、地域の受け皿となる諸団体には負担が大きく、担い手となる団体が限られるのではないかと考えられる。さらに、大会等の試合は休日に行われることが大半であり、部活動において大会等への出場が大きなウェイトを占めている現状においては、改革を行っても実態がそれほど変化しない可能性もある。

また、現在学校や保護者からの大きな反対の声は届いていないとのことだが、来年度の本格施行後には新たな課題が浮上してくることも予想されるため、今後の展開によって改革の評価は変わってくるだろう。

## ○提言

本市においても少子化の進行や教員の負担軽減の観点から、現在の部活動を今後も現行のまま維持していくことは難しく、抜本的な改革が急務である。

改革の方針を決定するにあたり、半田市で行われたような各学校の部活動の実態調査や、生徒・保護者に対するアンケートを行い、その結果を踏まえて方針を決定していくことが必要である。

同時に、地域のクラブチームや任意団体等が大会等への出場を可能にする土壌づくりを行いながら、地域での生徒を対象にした活動を行う団体を支援し、学校部活動以外の活動の場や選択肢を示していけるようにするべきである。

また、受入れ団体の支援も必要とされるが、半田市による助成制度は受入れ団体側の負担が大きいように見受けられるため、女川町における「学習塾代等支援事業補助金 第2号」のような制度の整備をしていくことで、地域の諸団体の活動の活性化に繋がると考えられる。

学校と地域双方にとって利益のある改革を進めていく必要について提言し、この度の行政視察報告とする。

## 岐阜県大垣市

### 「おおがき環境SDGsポイントの取組について」

#### ○視察目的

大垣市では、現在「おおがき環境SDGsポイント」として、市民の環境行動の促進を目的に、身近な環境イベントの参加や生ごみのたい肥化などの資源循環の取組に対し、環境グッズや電子マネーなどの商品と交換できるポイントを付与する事業を行っている。

本市において、脱炭素社会の実現を目標とし、太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及のほか省エネルギーの推進などの取組を進めており、これからも人や環境に配慮した各種施策の展開が求められることから、大垣市の取組を視察し、本市事業の参考とする。

#### ○視察概要

おおがき環境SDGsポイントとは…。

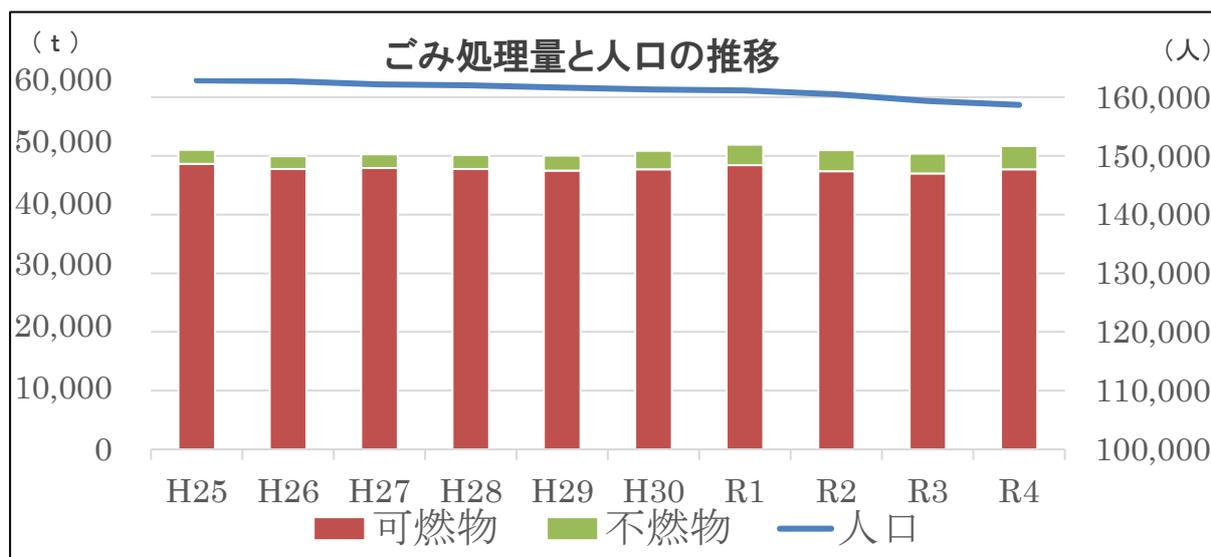
環境に良い行動をすると付与される「エコアクションポイント」のこと。（全国共通）

※「エコアクションポイント」とは、環境省が推進する環境に配慮した行動・サービス利用に対して付与されるポイントプログラムである。



#### ●経緯・目的

※ティーエムエルデ（株）が事務局



①ごみの減量化を推進するため

→②市民の環境行動（エコアクション）の促進を目的に

→③環境イベントへの参加や資源循環の取組に対し

→④「おおがき環境SDGsポイント」を付与

## ●事業概要（ポイント付与）

### 【環境学習】

- ・生ごみたい肥化初心者向け講座 50 P
- ・環境フェスティバル 100 P
- ・環境学習「気候変動生き物大調査」 100 P

### 【環境行動】

- ・コンポスト基材の購入 50 P
- ・たい肥を市へ提供 100 P
- ・クリーン作戦への参加 100 P

※ポイントの付与・交換は大垣市民限定  
 ※ポイント業務を大垣市環境市民会議に委託

## ●事業概要（ポイントの交換）

### 【大垣市が交換】

- ・たい肥で育てた野菜 50 P
- ・コンポスト基材割引券 100 P
- ・市のもえるごみ袋大 10枚 500 P

### 【その他主なもの】

- ・レストランお食事券 500円分 500 P
- ・インターネットショッピングのギフトカード 500円分 600 P

## ●事業概要（ポイント交換までの流れ）

### ①エコアクションポイントのアプリ登録

エコアクションのアプリをダウンロード後、氏名等の基本情報を入力し登録完了。



### ②エコアクションの検索

ポイントを取得できるイベントを探し参加する。

エコアクション  
を探す



### ③ポイントの取得

アプリでQRコードを読み取り、ポイントを貯める。

ポイントを  
貯める



#### ④ポイントの交換

アプリを使用してポイント商品を交換



※商品は基本郵送。大垣市の商品は直接取りに来ていただく。

#### ●事業内容（市が商品交換を行う）

商品交換（直接引き取りが前提）

- ①アプリ画面で交換商品の確認。
- ②管理者画面に交換情報が反映されるため、確認欄に☑する。
- ③商品を渡す。

#### ●事業内容（予算）

〈歳出〉①システム使用料：月額 22,000 円（税込み）

②ポイント代：1ポイント1円、アプリでQRコードを読み取られた分。

③カード作成代：1枚10円（作成を委託したときのみ）

〈歳入〉商品交換があると、請求書をティーエムエルデ㈱に提出。

例：有料指定ごみ袋 500P の交換

請求額は 400 円（20%の 100 円は、ティーエムエルデ㈱の手数料）

#### ●実績

①会員登録者数：357人（令和5年8月末）

※登録住所が大垣市であるものを抽出。

②ポイントの発行数とQRコード読込数

エコアクション	R4 読込数	R4 発行数	R5 読込数	R5 発行数	合計 読込/発行
コンポスト基材購入 100P	144	500	158	200	302/700
たい肥を市へ提供(10kg) 200P	5	40	15	0	20/40
たい肥を市へ提供(3kg) 50P	3	40	5	20	8/60
生ごみたい肥化初心者講座 50P	44	150	62	200	106/350
生ごみたい肥化講座 (R4.6) 100P	29	100	0	0	29/100
西高校で環境イベント (R4.7) 100P	5	250	0	0	5/250
めぐるマルシェ (R4.11) 100P	160	2,000	0	0	160/2,000
環境フェスティバル (R5.3) 100P	16	300	2	0	18/300
大垣祭り清掃活動 (R5.5) 100P	—	—	15	3,000	15/3,000
野菜の作付け体験学習 (R5.5) 100P	—	—	5	20	5/20
イオンモール環境イベント (R5.6) 100P	—	—	38	300	38/300
水門川クリーン作戦 (R5.7) 100P	—	—	52	1,000	52/1,000
野菜の収穫体験学習 (R5.8) 100P	—	—	2	5	2/5
合計	406	3,380	354	4,745	760/8,125

### ③商品交換数

交換商品	R4年度	R5年度	合計
たい肥により育てた野菜（300P）	18	0	18
コンポスト基材割引券（300P）	0	15	15
大垣市ごみ袋（可燃大）10枚入り（500P）	0	5	5
合 計	18	20	38

※令和5年度は  
令和5年8月末  
現在のもの

### ●課題・今後の見通し

#### 《課題》

発行数に対して読込数が少ない。

→原因はアプリ登録時に基本情報を入力するのが手間になっている。

#### 《今後の見通し》

去年と比較し読込件数が増加している。

今後も周知・啓発やポイント配付対象イベントを増やす。

### ○所感

SDGsや、CO2削減など環境に対する意識は徐々に高まってきているものの、そこから具体的な行動に移しているところはまだまだ少ないと言える。

大垣市では昨年4月から、環境省が推進している「エコ・アクション・ポイント」を取り入れ、市民の環境保全に対する意識啓発の取組を展開。環境イベントへの参加や、生ごみのたい肥化などの活動に対し、ポイント付与事業を進め、市民の環境行動促進につなげている大垣市の取組は、本市の今後の事業展開を考えるうえで大変参考になった。

### ○提言

環境保護の取組と言っても様々あるが、いかに市民全体の意識醸成を図るのか、市民の環境行動の変化につなげていけるのかが重要と考える。本市においても環境への取組は行われているものの、市民への意識啓発、行動変化につながっているとは言い難い。

今後、プラごみの分別化なども進められると思うが、「ご理解・ご協力」を求める事以外にも今回のように市民が自発的に楽しみながら環境配慮に取り組める事業展開が必要と考える。他市の先進事例なども調査・研究しながら、更なる環境保全の取組を進めていただきたい。